



R.I. 第2620地区 静岡第1グループ
三島西ロータリークラブ

週報

第2213号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市本町6-35 呉竹
TEL(055)975-3210

会長 千葉 慎二 幹事 三田 明宏



広重版画より 三島 朝霧

第2283回例会

2020.8.6晴

司 会

柴崎恵子君

国歌斉唱

四つのテスト

ロータリーの目的

ロータリーソング

「奉仕の理想」
指揮 栗原達治君

会長挨拶

会長 千葉慎二君

ベトナム人女性との結婚を機に独立起業をし、彼の地で第二の人生を送っている高校の同級生がいます。インターネットやSNSといった通信ネットワークとは何とも優れたもので、飛行機で数時間も離れた距離のものともせず涼しい部屋に居ながらにして、先週ベトナム北部を直撃した台風3号の被害のことなどの情報交換ができました。ベトナムと言えば台湾と並んで新型コロナ対策の優等生、これまで死者ゼロだった国として脚光を浴びていました。(残念ながら7月下旬から再び感染が広まり、とうとう7月31日に初めての死者をだしてしまいました。)近年では、経済成長も著しく多くの日本企業も進出していますし、勤勉で向上心の高い国民性の故でしょうか、技能労働者としてのみならず、優秀な大学を卒業して高度な技術職や専門職を目指して来日・就職をする若者が増えていることも注目されています。さて今日は、とあるコンサルタントからの受け売りではありますが、そんな成長著しいベトナムに関するトリビアをご紹介します。

投資に振り向けられる資産を百万ドル(凡そ1億円強)以上保有する方を富裕層、3千万ドル(凡そ30億円強)以上の方を超富裕層と呼んだ場合、2019年の時点で超富裕層の数が多き国は、アメリカ、日本、中国、ドイツの順となるそうですが、2012年からの数年間の超富裕層の数の伸び率で言うと、バングラデシュ(17%)、中国(13%)、ベトナム(13%)、ケニア(12%)の順となります。勤勉で豊か、伸び盛りのベトナムに高度成長期の日本を重ねて見るのはちょっと時期尚早、無理があるでしょうか。

出席報告

| | 出席総数 | 出席率 | メークアップ | 修出席率 |
|-----|-------|--------|--------|--------|
| 前々回 | 46/49 | 93.88% | 47/49 | 95.92% |
| 今回 | 42/47 | 89.36% | 会員総数 | 50名 |

欠席者 秋元君、芦川君、宇江喜君、前田(博)君、松本君

幹事報告

幹事 三田明宏君

1. 8月行事予定

- 6日(木)呉竹 会員増強月間 卓話:矢岸克行委員長
- 13日(木)呉竹 夜間例会 卓話:秋山 恭亮君
ガバナー補佐訪問
- 27日(木)呉竹 卓話 澤田 稔君

2. 理事・役員会報告

- 苗栗社合同事業の件につきましては、前向きに内容を精査しながら進めていく事で同意しました。
苗栗社50周年記念式典:2021年3月13日(木) 予定
- 10月第1例会(米山記念館)での卓話は桃瀬弘明君に予定しておりましたが、卓話者を変更いたします。
米山奨学生 トウ タン氏(日大国際関係学部在籍)
- 10月18日(日)に予定しておりました見晴フェスティバルですが、中止の案内が届きました。つきましては、例会日・会場・内容を変更させていただきます。10月22日(木)呉竹 12:30開会点鐘 卓話 桃瀬弘明君となります。
- 2720地区 硯川昭一ガバナーより、熊本豪雨災害ご支援のお礼状が届きました。

※コロナウイルスにおける感染状況は、今だに全国で猛威を奮っております。理事役員会におきましては、何等かの情報等が入りましたら、速やかに持ち回り理事・役員会を開催し状況を把握し、できるだけ正確な判断を下し、会員皆様に通知を致したいと考えます。状況によっては突然、例会の休会・クラブ活動の休止等の連絡が届くかもしれません。これは、時間を空けすぎて事態を悪化させないためのものです。是非ともこの件をご理解頂き、ご承知おきください。

2020~2021年度
国際ロータリー会長
ホルガー・クナーク

ロータリーは、機会の扉を開く

“こんにちは、ようこそ”

ゲスト 町野暉さん
(関本(照)・前田(博)・赤池君のゲスト)
ビジター 兵藤弘昭君(伊豆中央RC)

おめでとう

入会記念日 橋本君、秋山君、
西川君、桃瀬君、野田君

スマイルボックス

- ◆伊豆中央RC兵藤君、本日、消毒用アルコール77度4リットルを持参しました。必要な方はペットボトル等で小分けしてお持ち帰りいただければ幸いです。コロナウイルスに対し有効性が確認されているアルコール消毒液を使用し、この難局をなんとしても乗り越える決意をもってロータリークラブぐるみで安心安全を守っていただきたく存じます。これらに関しては当然のことながら見返りを求めている行動ではなく、三島西ロータリークラブの皆様への安心をお届けしたい一心からの行動です。クラブ間を超え互いに支えあう仲間「それでこそロータリー」だと信じております。
- ◆加藤君、藤江さん、先日は水道組合の市長への要請書の件、ありがとうございました。
- ◆和田君、毎日牧場でのテーブル会ありがとうございました。楽しいひと時でした。千葉会長・三田幹事出席ありがとうございました。
- ◆室伏君、食事テーブルの正面の人との間に透明の衝立(シールド)のテストを行いました。良好でした。立ち会っていただいた西ロータリーのメンバーに感謝します。
- ◆古屋君、すみません、早く帰ります。

卓話

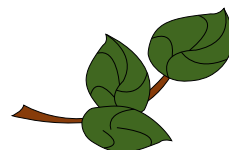
会員増強月間

会員増強・維持委員長
矢岸克行君

会員増強維持委員会のただ一つのお願いは“なんとか会員を増やしていただきたい”これに尽きるわけですが、ロータリーに入会するきっかけや、入会して良かったと感じる点は人それぞれあるという認識が会員増強維持に繋がっていくのではないかと考えます。

ご近所、同級生、“仲間”とは様々な形態があります。しかし、ロータリーの仲間が一番身近であると感じております。例会を通じて、その他の機会を通じて、親睦を図ることのできる多くの機会があり、三島西ロータリーは創立以来、まさに“親睦”をテーマに友情を深めてまいりました。時代の変化があり、ロータリーで連綿と受け継がれてきた伝統というものが希薄になっているようにも感じますが、三島西ロータリークラブは「他のクラブよりバランスが良い」という言葉を聞きます。あるクラブでは世代間交流が無かったり、一業種に偏ってしまったりという課題があるようですが、三島西ロータリーは世代間の交流もあり、様々な業種の方がいらっやいます。このところ若い世代の入会もいただき、クラブの維持・持続をますます期待できるように思えます。嘗てはクラブ内だけでなく、青年会議所とロータリーのゴルフ対抗戦を行ったり、外部組織との交流もあったのです。結果的に若手との触れ合いを図る機会となったのですが、現在の三島西ロータリークラブでは既に若い会員との交流もあり、三島西ロータリーの伝統を伝達する環境もあります。

親睦をもって仲間との友情を育み、先輩も後輩も一週間例会を楽しみに過ごしていただけるようなクラブを常に考え、会員皆様お一人お一人に増強維持の気持ちをもっていただきたいと思えます。ぜひとも一年間皆様のご協力をお願いいたします。



(週報担当:赤池克斗)

三島西RCテーマ

ホップ、ステップ
新たな飛躍に向けて足下を見つめてみよう